



すずらん小学校は、商店街の中にある小さな小学校です。今日は、児童みんながまちにまった遠足です。

一年生はバスにのって、フラワー公園でアスレチックをします。

一年生のみんなは、アスレチックをすることを、とても楽しみにしていました。でも、それと同じぐらい丘の上で食べるお弁当のことも、楽しみにしていました。

朝、さくら商店街のどのお店からも、お弁当をよるこぶこどもの声が聞こえてきます。

でも、そんな中、パン屋からどなる声が聞こえました。

「えー、なんでだよ！」  
裕太が、顔をまっかにして怒っていました。

「約束したじゃんか！ そぼろの三色弁当作るって！」

「ママだって、作るつもりだったわよ。でもお得意様から、急な注文が入っちゃったんだもん」

ママは、忙しそうにロールパンを袋につめていました。

「夕飯は、裕太の好きなものを作ってあげるから、お弁当はこれもって行って」

そう言ってママは、ロールパンが三個入ったビニール袋を裕太にわたしました。

「ふざけんなよ！ パン三個だけなんて！ おかずはどうするんだよ！」

そのときパン工房から、パパが出てきました。

「ごめん。注文書見間ちがえちゃった。百個じゃなくて、十個だった」